

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 H 様 邸

工事箇所 外壁・車庫・その他塗装工事一式

工事住所 北九州市 若松区 小竹

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観



外観



玄関

この部分は今回は塗装をおこないません。



桁・木柱・しっくい 部

今回はこの部分は塗装をおこないません。



破風

全体的に経年劣化・旧塗膜の剥離が見られます。

剥がれている部分に上から塗装をかけても下から剥がれてきますので、旧塗膜が浮いている所はケレン作業で旧塗膜を除去し、下塗りをおこない塗装をしていきます。



庇

こちらは鉄・スチール素材になります。

劣化するとサビが発生し腐食してきますので、早めの塗装をお勧めします。



雨戸

対処方法

サビの発生している部分にいくら塗装をかけてもすぐにサビが表面化してきますので、サビが発生している部分はケレン作業でサビを落とし、サビ止め下塗りを行い塗装をしていきます。



小庇

同上



土台水切り

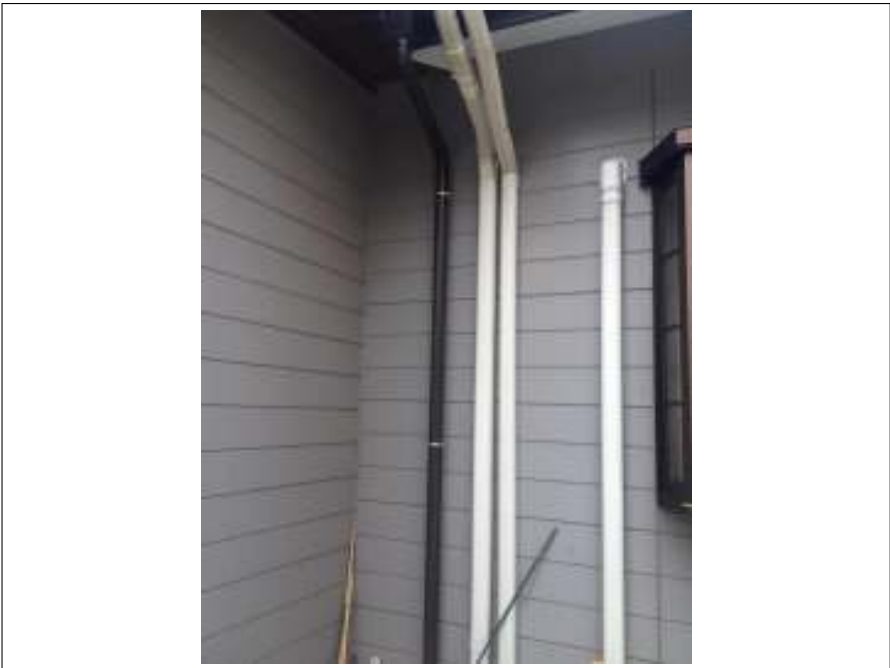
同上



軒天

全体的に経年劣化・旧塗膜の剥離が見られます。

剥がれている部分に上から塗装をかけても下から剥がれてきますので、旧塗膜が浮いている所はケレン作業で旧塗膜を除去し、軒天専用の塗装を二回していきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。劣化すると割れが生じてきますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



その他配管

同上



基礎クラック

コンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合して中性化し、クラックの発生や内部の鉄筋の腐食が促進され、鉄筋の体積膨張により爆裂等を起こしてしまい構造物全体の寿命や性能低下を生じてしまいます。

※0.3mm以上のクラックは補修が必要です。



チョーキング現象

塗装表面が紫外線や水分や熱等により、塗装表面の樹脂が劣化しチョーキングの粉状のような現象。

この状態になると表面から雨水や湿気を吸い込む状態になり、外壁材の痛みや躯体の劣化つながりますので早めの塗装をお勧めします。



チョーキング現象

同上

増築部もでていました。



外壁クラック部

数ヶ所見られました。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガスが侵入してき、外壁材の痛みや躯体の劣化につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



外壁クラック部

同上



外壁クラック部

同上



車庫外観



車庫外観



車庫外観



車庫屋根

瓦棒(ガルバニウム鋼板)の部分は劣化がひどくないので塗装は必要ないです。



波型スレート屋根

全体的に経年劣化・旧塗膜の剥離が見られます。

剥がれている部分に上から塗装をかけても下から剥がれてきますので、旧塗膜が浮いている所はケレン作業で旧塗膜を除去し、下塗りをおこない塗装をしていきます。



シャッター

こちらは鉄・スチール素材になります。

劣化するとサビが発生し腐食してきますので、早めの塗装をお勧めします。



シャッター

対処方法

サビの発生している部分にいくら塗装をかけてもすぐにサビが表面化してきますので、サビが発生している部分はケレン作業でサビを落とし、サビ止め下塗りを行い塗装をしていきます。



基礎 クラック部

コンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合して中性化し、クラックの発生や内部の鉄筋の腐食が促進され、鉄筋の体積膨張により爆裂等を起こしてしまい構造物全体の寿命や性能低下を生じてしまいます。

※0.3mm以上のクラックは補修が必要です。



外壁 クラック部

数ヶ所見られました。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガスが侵入してき、外壁材の痛みや躯体の劣化につながりますので、シーリング等で補修をおこない塗装をしていきます。



チョーキング現象

塗装表面が紫外線や水分や熱等により、塗装表面の樹脂が劣化しチョーキングの粉状のような現象。

この状態になると表面から雨水や湿気を吸い込む状態になり、外壁材の痛みや躯体の劣化つな갑니다ので早めの塗装をお勧めします。



チョーキング現象

同上

増築部もでていました。

